

# こだわりスポット NATURAL

このコーナーは「NATURAL」と題して、自然を愛し、自然にこだわり、そして自然体で活躍されている人々を紹介していきます。

## ゲストハウスばあく

金剛山の麓に、おいしい手作りハムとソーセージの工房があると聞いて、車をとばしてきました。思ったほど遠くなく、美原から車で30～40分ほどで、目的の“ゲストハウスばあく”に着きました。ここで頂けるメニューはすべて泉澤農場で育てられたこだわりの豚肉を使用されているということで、早速いただく前に泉澤農場へ見学に！



▲泉澤農場



◀自慢の手作りソーセージ

“ゲストハウスばあく”で、泉澤農場でじっくりと育てられた豚肉を利用して作られた手作りのランチを頂きました。地元のお母さん達の手で心をこめて作られた、ハムやスモークベーコン・ポーンソーセージのランチは「こんなに、お肉の旨みを感じるハムははじめてかも!」と、うなる位絶品でした。「残さず全部いただきます」と先ほど対面した豚さんたちに心からありがとうを…。

### 生産者の泉澤さんのお話をお伺いしました

- おいしい豚肉をつくるために心がけていることは？
  - ◎霜降りのきめ細かい豚肉になるよう品種にこだわる
  - ◎味・安全性・血統・肉質に関して、輸入品や大手企業に負けない誇りをもっている
  - ◎自家配合の飼料(エサ)のみを使用する
  - ◎輸入したものは使用しないで、食べ物リサイクルを実践している
  - ◎期限切れの食品等を利用して、人に・地球に優しい農業を心がけている
  - このリサイクル体制が整ってきている
- 今後の方針は？
  - ◎規模を拡大するつもりはなく、地元で根ざし少しでも貢献していきたい
  - ◎とにかく地産地消(地域生産地域消費)すること
  - ◎国民の自給率が低い国だといわれているが、今こそ、都市と農村が深くつながっていくよう、発信していきたい
- 購買者のかたにメッセージを
  - ◎自然もたくさん残っており、とてもいい所なので、とにかくこの地域に遊びに来てください
  - ◎食べ物を大切に、そしてリサイクルに協力してください。



### ゲストハウスばあく

●〒637-0019  
●住所:奈良県五條市小和町719  
●電話・FAX:0747-25-0701  
HP:<http://baaku.okoshi-yasu.net/>

◎お食事をご希望のお客様は予約が必要なので、事前にご連絡をお願いします。

このコーナーは、美原区にお住まいの方及び美原区内にお勤めの方を対象に、実施されているイベントなどをご案内するものです。

## みはらトピックス

### みはら区民まつりに出店しました!

第4回みはら区民まつりが、11月24日(月祝)に堺市立美原中学校運動場及び体育館で開催されました。今回、協同組合では、22年間続けてきた『木材団地まつり』の主旨のひとつである『地域への貢献』と『木材の普及』を目的に初出店し、端材を利用した木工教室(プランター製作)をはじめ、木質端材の提供や「木」に関するPR活動(プロモーションビデオ等の放映)を実施しました。あいにくの天候にもかかわらず、ご参加いただきました皆様、ありがとうございました!



▲岡本区長ご挨拶



# SPACE DESIGNER

空間を創造する者たち

## 高松伸

～その造形が訴えるもの～



### 美保関町海の学苑ふるさと創生館

## メテオプラザ

〒690-1131 島根県松江市美保関町七類3 2 4 6 - 1  
TEL:0852(72)3939 FAX:0852(72)3888  
<http://www.mihonoseki-kankou.jp/meteorplaza.html>



▲隕石の形をモチーフにした物体が、波をイメージした屋根の上に乗っかっています。中は外観そのままの形でシアターになっており、その奥が円錐形の物体と繋がっており、そこに本物の隕石が展示されています。



▲港と反対側から見た正面エントランスです。右側がフェリーターミナルの切符売り場と待合室の入口で、左側がミュージアムやその他の施設の入口になっています。

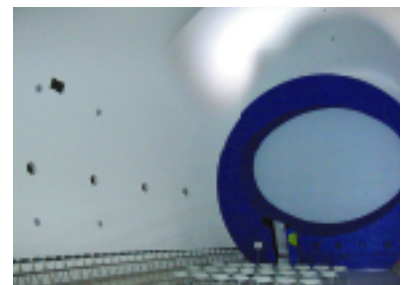


▲山側から見た建物の外観です。港側とは対照的にコンクリート壁面が全面的に配置されています。屋根のイメージは統一されて、ウェーブしています。

1992年12月10日、現美保関町の民家に隕石が落下し、2階の屋根から1階の床下まで突き抜けました。その隕石は6100万年宇宙を漂い、美保関に落下したそうです。地球上にない物質が含まれていたり、貴重なものらしいです。その隕石の展示施設と、フェリーターミナル、リラクゼーション施設、プール、サウナ、市民ホールを備えた複合施設として建てられたのが、「メテオプラザ」です。町はこの施設の計画にあたり、設計競技を行い、結果高松伸建築設計事務所が選ばれました。そしてほとんど設計どおりの建物になってしまったようです。

トラス状の柱に支えられた波をイメージさせるウェーブした屋根があり、その上に隕石の展示ルームが漂っている。そんな明快なイメージの建物です。米粒のような形をしたものは、隕石の形を表現していると思われ、その中はホールになっていて、手塚プロによる隕石をモチーフにしたアニメーションが上映され、その横にくっつくように立っている円錐形の建物の中に実際の隕石が展示されています。また展示施設では、その当時の写真や、隕石が突き抜けた実際の畳や床板などが展示されたり、世界の隕石の展示や隕石や宇宙についての解説などがあり、好きな人にはロマンをかきたてられる内容になっています。

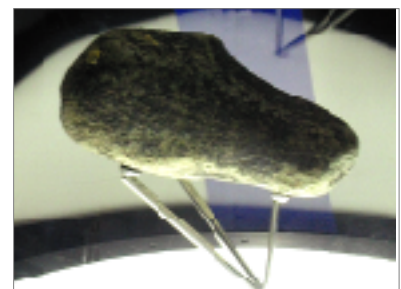
この円錐形の建物の上部に、隕石が展示されています。ドーム状のシアター部分と繋がっていて、映像を見てから隕石展示部分に誘導されるようになっています。



▲シアターの内部です。外観のドーム型がそのまま内部の壁面になっています。ここで宇宙の誕生について解説した映像や、手塚治虫プロ製作、小田和正音楽担当の、隕石をモチーフにしたアニメーションが上映されています。



▲フェリーに乗り込むための誘導通路です。風雨に影響されないように、飛行場の乗り込みゲートのようにになっています。



▲本物の隕石です。透明のケースの中に入れてあり、間近で見ることができます。大きさは長さが25cmくらいです。